

企画セッション 2 (学会、JESCO 共催)
減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク会合
復興再生利用・県外最終処分に関する理解醸成活動
開催概要

報告：中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

日時：令和 8 年 8 月 27 日 (木) 14:30～17:00

場所：国立研究開発法人産業技術総合研究所 中央事業所 共用講堂 (茨城県つくば市)

プログラム：下記

開会挨拶 JESCO 代表取締役社長 鎌形 浩史

講演

講演 1 復興再生利用や県外最終処分に向けた理解醸成活動の状況

JESCO 中間貯蔵事業部 コミュニケーション推進課長 安納 康栄

講演 2 「説明」から「ともに判断するための対話」へー公共事業分野から考える理解醸成と計画検討ー

東北工業大学工学部 准教授 泊 尚志

講演 3 除去土壌に関する課題の社会受容に向けた公衆・ステークホルダー参加

北海道大学大学院文学研究院 教授 大沼 進

総合討議 進行：立教大学環境学部 准教授 森 朋子

上記講演者

閉会挨拶 福島大学名誉教授/環境放射能除染学会会長 佐藤 理夫

減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク (以下「知のネットワーク」という。) は、共同事務局である環境放射能除染学会と中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (以下「JESCO」という。) が、それぞれの活動や業務の今後を考える中でネットワークを広げていく必要があるとの問題意識から始まり、令和 2 年以降、環境放射能除染研究発表会の機会等に合わせて会合を開催している。令和 8 年 8 月 27 日の研究発表会では、企画セッション 2「復興再生利用・県外最終処分に関する理解醸成活動～個人の考え方の違いを踏まえた最適なアプローチとは～」と題して会合を行ったので、その内容を紹介する。

復興再生利用及び県外最終処分については、専門的な情報を正しく伝えることが重要である一方で、個人によって考え方や判断基準が異なることから、説明や対話を重ねても、社会全体としての理解や受容に直ちにつながらない場合がある。本企画セッションでは、公共事業における計画検討や合意形成の事例、社会受容に関する研究成果等を共有し、理解醸成活動に必要な考え方及び留意点について議論した。

会合では、冒頭、主催者として JESCO 代表取締役社長の鎌形浩史氏から開会挨拶があった。

講演では、JESCO 中間貯蔵事業部コミュニケーション推進課長の安納康栄氏、東北工業大学工学部准教授の泊尚志氏、北海道大学大学院文学研究院教授の大沼進氏の 3 名から、理解醸成活動の状況、公共事業における対話型の計画プロセス、社会受容及び公衆・ステークホルダー参加の観点について講演があった (※)。

講演に続く総合討議では、立教大学環境学部准教授の森朋子氏を進行役とし、討議に向けた話題提供 (※) が行われた後、講演者により理解醸成活動のあり方について議論が行われた。

森氏からは、対話を進める上で、自分を知ること、他者の意見を聴くこと、自分の意見を伝えること、対話の場をつくることの 4 つの要素が重要であるとの話題提供があった。また、立教大学で実施している福島フィールドスタディの取組を紹介し、参加者が課題を自分事として考えること及び異なる意見や価値観の背景を理解することの重要性について説明があった。これに対して、講演者からは、

- ・理解醸成は情報を伝える活動にとどまらず、参加者が課題を自分事として考える機会をつくる取組である。
- ・人々は安全性や必要性に関する情報だけでなく、信頼、公平性、地域への影響等を踏まえて判断している。
- ・候補地が示される前の段階から、どのような考え方で進めるのか、どのように決めるのかを社会全体で議論することが重要である。
- ・福島県や大熊町・双葉町の住民が経験してきたことを、制度や技術的説明と併せて社会全体へ伝える必要がある。

等の発言があった。その後、進行役の森氏から、

- ・現地見学は知識の取得に加え、参加者が自分自身の考えを持ち、地域の課題を自分事として捉える契機となる。
- ・幅広い情報発信と、対話や意見交換の機会を組み合わせることにより、理解や関心の継続につなげることが重要である。

等の発言が有った。

こうした総合討議を通じて、復興再生利用及び県外最終処分に向けた理解醸成活動においては、分かりやすい情報提供を継続するとともに、信頼できる関係づくり、公平で納得感のある進め方、市民参加及び地域での経験や思いの共有を重視する必要があることが確認された。

企画セッションの最後に、環境放射能除染学会会長の佐藤理夫氏の閉会挨拶をもって本会合及び研究発表会が締めくくられた。

※ 講演資料、総合討議資料は下記 URL（JESCO ホームページ「知のネットワーク」）よりご覧いただけます。

https://www.jesconet.co.jp/interim/page_00112.html



